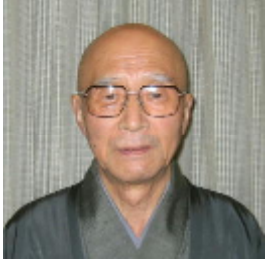


桜守 (広報誌第 2 号)

(財) 吉野山 保勝会

ご挨拶 (財) 吉野山保勝会 賛助会会長五條順教 (金峯山修験本宗管長)



平成 16 年 7 月 1 日「紀伊山地の霊場と参詣道」がユネスコ世界遺産として正式に登録されました。即ち「吉野・大峯」「熊野三山」「高野山」という三つの山岳霊場と「大峯奥駈道」「熊野参詣道」「高野山町石道」という三つの参詣道であります。日本では 12 番目の登録であります。参詣道という道が登録されたのは初めてのケースであります。世界的にはスペインの「サンチャゴ・デ・コンポステーラへの巡礼道」に次いで 2 例目ということになります。関係者や地元にとりましては、まことに有り難くよろこばしいことでもあります。

わけても日本固有の民族信仰を根拠とする修験道の根本道場であり、修験道発祥の聖地である「吉野・大峯」「大峯奥駈道」が「世界の宝」として認められたことは、修験道関係者として、また吉野人として大きな誇りであり、大きなよこびであります。

吉野山は修験道と共に生きてきた土地柄であります。吉野山のシンボルである「桜」そのものが蔵王権現にお供えされた花であるということは何よりの実証でありましょう。その修験道の聖地たる「吉野・大峯」が世界遺産となるに及び世間の認識は大きく変わりました。私たち地元民としては、これを吉野山発展への大きな契機としていかねばなりません。それはいたずらに観光客の誘致に走ることであってはならないと思います。今まで以上に慎重な心と態度を持って、先ず吉野山の景観をより良くするための努力を続けるべきでありましょう。吉野山の歴史的、宗教文化的景観を守り、自然の景観を整えていく息の長い地道な努力こそ、吉野山を真の発展に導くことになると思います。

それだけに、今後の景観の保全と伝承については一層の負担を覚悟しなければなりません。世界遺産に登録されたからといっても、補助金が出るわけではありません。それは関係者や地元の負担ということになります。その意味におきましては、吉野山保勝会に課せられた今後の責任は大きなものとなりました。その保勝会の活動を支援するための団体である賛助会もまたこれを機として一層充実したものにしていかねばなりません。

この吉野の地は往古、飛鳥の宮人たちの憧憬する「神仙境」でありました。持統天皇などは実に三十四度も吉野に行幸されておられます。この吉野山を守るとは、大きく言えば日本の歴史を大切にすることに通ずるものであると思います。そのような豊かな観点をもって、今後とも吉野の桜の保護・育成のために忌憚のない御指導と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

つつじヶ城付近の桜山を整備 (平成 16 年 9 月)



(休憩場)



(休憩場より桜山を見下ろす)



(町道より見上げる)

つつじヶ城付近の桜山を整備いたしました。ここから見る吉野山の周辺にそびえ立つ二上山・葛城山・金剛山を見て、「さすがは この場所に、城があったなあ」と思わせる展望です。(130本の桜苗を植栽いたしました。)

西行庵が今までの姿通りにリニューアル (平成 16 年 9 月)

吉野山の奥千本の中心「西行庵広場」の西行庵(右写真)をリニューアルいたしました。完全に、新しくしたのではなく、古い材料も使える材料は全て使い、昔ながらの面影を残しながらのリニューアルをおこないました。



(西行庵広場)



(西行庵に安座する西行法師)



(西行庵)

世界文化遺産「金峯神社」より西行庵への世界遺産の道

金峯神社より西行庵まで徒歩で約 15 分です。奥千本周遊コースは約 1 時間です。



(金峯神社より西行庵の道)

◆◆◆ 賛助会会員募集中 ◆◆◆

財団法人 吉野山保勝会 〒 639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山 2430
TEL:07463-2-1877 FAX:07463-2-1217 E-mail hoshokai@iris.ocn.ne.jp
URL: <http://www.yoshino.ne.jp/yoshinoyama/>